

はしがき

本書は2017年に刊行した『新・エッセンス憲法』の新版である。同書自体、2012年刊行の『エッセンス憲法』の新版としてこれに『新』を付して刊行したものであったが、この度、長らく編者を務められた安藤高行先生からわれわれ3名に編者が交代することとなり、これを機に4名の新たな執筆者をお迎えし、また、前書以来の執筆者においても複数の担当箇所の変更を生じたため、改めて『エッセンス憲法 [新版]』として出版する運びとなった。

本書は、憲法を初めて学ぶ人にも利用しやすい概説書として企画されたものであるが、同時に、法学部における専門科目としての「憲法」の講義で用いるのに十分な内容を備えることも目指した。これは、前書『エッセンス憲法』、更には、その前身の『基本憲法学』以来一貫して刊行のねらいとしてきたところである。そのため、憲法を理解するうえで最低限必要となる知識や基本的な争点について網羅的に解説するとともに、最新の判例や学説、立法等をできるだけフォローし、憲法をより深く学びたい人の関心にも応えられるように努めた。概説書としてのコンパクトさを目指した関係上、後者の意図については十分達成できたとは言いがたいところもあるが、国会による憲法改正の発議が現実味を帯びつつある今日、初学者であれ、既にひとつおりの知識を有する者であれ、ともに憲法改正の最終的決定権を有する国民＝主権者として、その行使に向けて憲法に対するより深い関心と知識を保持することの重要性は高まっている。本書がその契機となり得るならば幸いである。

前書に引き続き、本書においても多くの執筆者にご参加いただいた。多忙な中、また、前書から編者も交代し、行き届かない面が多々あったにもかかわらず、編者の要請に応じ積極的にご協力いただいたことに心よりお礼申し上げます。併せて、本書の企画から刊行まで、何かとお骨折りにいただいた法律文化社の八木達也氏にも、この場を借りて改めて感謝申し上げる次第である。

2023年10月

編者一同